

## 明日も元気で来いよ！

校庭を華やかに賑わわせてくれていた桜も葉桜に姿を変えました。かわって、中庭ではハナミズキやチューリップなどが、かわいい花をつけています。

昨日（20日）は、二十四節気の「穀雨」でした。この時期の雨は、たくさんの穀物をうるおし、成長を促します。この時期の雨には、いろいろな名前がつけられています。穀物を育む雨を「瑞雨（ずいう）」草木をうるおす雨を「甘雨（かんう）」。春の長雨を「秋霖（しゅうりん）」。早く咲いて、と花に促す「催花雨（さいかう）」・・・昔から人々は、自分たちの願いを込めて、季節の移ろいを感じてきたのですね。（参考：日本の七十二候を楽しむ 東邦出版）気温も次第に上がり、季節は、これから少しずつ初夏に向かいます。

### 離任式 別れを惜しむ体験を大切に

14日（金）は、転任された先生方との離任式を行いました。

お越しくくださったのは、飯塚前教頭先生（現 北中道小学校 校長）

と、前教務主任の栗原先生（現 豊新小学校 教頭）です。

鈴木先生（現 平尾小学校）は、お仕事の都合で欠席でしたが、くれぐれも皆さんによろしくとのことでした。

式には、保護者や地域、女性会の皆様、そして卒業生もたくさん駆けつけてくださいました。校長からお二人の紹介をした後、子ども達からお別れの言葉と花束を贈りました。そして、子ども達が通路をつくって、お二人を拍手でお送りしました。

中には、涙を見せる子もいました。私は、この涙がとても大切だと思います。

人生は、出会いと別れのくり返しです。特に学校生活では、毎年、必ず出会いと別れが訪れます。人との別れを惜しむ体験は、人を大切にする気持ち、人への優しさにつながると思っています。西天満小学校の子どもたちは、「人に優しくできる」という「よさ」を



もっています。これは、これまで、学校と家庭、地域が大切にしてきた伝統によって子ども達の心に育まれてきた「よさ」です。これからも、色々な場面を通じて、子ども達の心に優しさを育んでいきたいと思っています。

### 覚えていますか マツバウンラン

昨年度の第3号で、校庭に咲いていたマツバウンランを紹介しました。今年も、花の咲く時期になったので、運動場のあちこちを探してみました・・・でも、みつきりません。種を飛ばして仲間を増やす種なので、昨年咲いていたあたりも探しましたが、やっぱりありません。



今年は、見られないと残念に思っていました。ところが、先日、市役所の横にある大阪府立中之島図書館の北側の植え込みの中に、ひっそり咲いているのをみつけました。うすむらさきのかわいい花です。

こんなふうに学校の外でも、子ども達が、季節の移ろいを感じてくれることがあればいいな、と思いました。これまで、この「明日も元気で・・・」で、季節の移ろいを感じさせてくれるたくさんの植物を紹介してきました。今では、私より先に、そんな植物をみつめて、私に教えてくれる子どももいます。「校長先生、キンモクセイが咲いていて、いい匂いです」「倉庫の裏に水仙が咲いています」「中庭のハナミズキが咲きました」・・・美しいものを見たときに、美しいと感じることができる・・・子ども達の心に、そんな感性が確実に育っています。そんな感性をますます磨いてほしいと思っています。

### 熊本地震から1年

昨年の4月14日、16日と続けて震度6以上の地震が起こり、大きな被害の出た熊本地震から1年が過ぎました。今なお、多くの方々が避難生活を強いられています。これまで、何度もお知らせしてきましたが、今回もまたお伝えします。

「ありがたい」は、有り難い・・・  
日常の当たり前のようにある生活が  
「ありがたい」ことなのですね。  
感謝の心を忘れずにいたいものです。

